



記者会見(左から)吉田、大川、清水、からの各都議、北野、野村

大山氏は、「今回の終わらせることはできず、問題を(やじを飛ばし)ませんと強調。「発言が行われた本会議場で謝罪すべき」だと

副幹事長が出席しました。

長 清水が子政調委員長、から佳代子委員会(議運委)理事の大山と子幹事だ。委員会は、吉田団長のほか議委運営徹底発明に全力を尽くす決意を語りまし、たについて記者会見し、今後を追及し、いや問題をめぐる経過と都議団の対応、長 17人は5日、女性の尊厳を踏みに日本共産党東京都議団(吉田信夫団

共産党都議団 会見で決意

ヤジ問題 今後も追及

して「鈴木嘉浩議員に求める動議」の発議をたいする謝罪声明を議運委理事会に申し出し、「議長 17名齊

た経緯を説明しました。動議があります」と発言を求めました。しかし説明による「理事、議長は議運委で決まっていたことだとして発言を認めませんでした。民衆が動議に賛成しませんでした。自民・公明が反対し、一方的に動議をめぐり議論が終結を認め、さらには、その後の本会議で、吉田議長が動議を出す権利がある」と述べました。